



センターニュースをお読みの皆様へ

当センターでは現在、近い将来の電子カルテの導入に向けて検討や調整が続けられています。電子カルテは繰り返し作業や確認作業は得意ですし、職員間の情報の共有にも大いに力を発揮するでしょう。しかしながら人情の機微や温もりを扱ったり、例外的な、あるいは緊急時の判断をしたりすることは苦手で、残念ながら「夢の機械」ではありません。特に当センターを利用される皆さんのご希望やお困りご

とは極めて多彩で、電子カルテに収まりきることはないでしょう。電子カルテの導入により、機械の得意なことは機械に任せ、職員が、人間にしかできないことや、人間こそがやるべきことにさらに注力する余裕が生み出されることを期待しています。

医務部長
野村 健介

式典

10月15日デイケアセンターでは2名の利用者様の二十歳のお祝いを行いました。主役のお二人は洋装と和装の装いでとても素敵でした。式が始まり、理事長、院長のお祝いの言葉をいただく中、最初は緊張した様子が見られたお二人ですが、隣にご家族がいることもあり徐々に表情も和らいできました。お祝いの言葉の後は、デイケア児童部、青年部からそれぞれお二人にメッセージとお二人の大好きな「ドレミの歌」をハンドベルで演奏しました。主役の二人はリズムに合わせて手拍子したり、笑顔を見せてくれました。

式の最後、ご家族の言葉からお祝いができたことの嬉しさや、これまでのいろいろな思いが伝わり、職員として改めて日々の療育の大切さやその責任を感じました。最後はみんなで「365日の紙飛行機」の歌のプレゼント、会場に集まったみんなでお祝いしました。二十歳を迎えたお二人にはこれからもデイケアでいろいろな経験をし、得意な事や好きなことが広がっていくと良いなと思いました。

(デイケアセンター 綾部 まゆみ)



コンサート

10月15日に仙台フィルハーモニー管弦楽団に長年在籍されていた山本純さんによる「二十歳のお祝いコンサート」が行われ、温かく深い響きをもつチェロの演奏を届けてくださいました。クラシックの曲「愛の挨拶」の演奏が始まると響き渡るチェロの音色にみなさんうつとりと聞き入っていました。

リクエストにも応えてください「さんぽ」「カントリーロード」、「アンパンマンのマーチ」「君をのせて」、「小さな恋の歌」「大きな古時計」など12曲を演奏してくださいました。親しみのある曲がチェロの優しい音色で奏でられると歌声と笑顔があふれ、一緒に楽器を鳴らしたり歌ったりと会場は温かな一体感に包まれました。

二十歳という大切な節目を祝うコンサートは心に残る特別なひと時となりました。

(デイケアセンター 林 純子)





10~11月に行われた行事の様子を各担当者よりお知らせいたします。
(編集委員 清水 信夫)

第1病棟
大遠足

10月31日(金)と11月4日(火)の2班に分けて大遠足を行いました。今回のテーマは「SGC(しまだゲームセンター)に行こう」です。午前中は病棟内にて「あそびのむしプロジェクト」の玩具を使って楽しめました。遊び方を決めつけるのではなく、利用者様のどこに心が動いたかを探しながら様々な工夫する職員、ご家族の姿が多く見られました。それに答えるかのように利用者様もとても良い表情を見せていました。午後は厚生棟研修室にて手作り感満載のゲームセンターで賑やかな時間を過ごしました。(保育士 田邊 雅恵)



第3病棟
東棟
大遠足

10月9日(木)、3病棟東棟大遠足がありました。午前組・午後組に分かれて、この春リニューアルオープンした多摩中央公園に皆で出かけました。池の周りをゆっくり散策したり、グリーンライブセンター(花壇)のハロウィン飾りやお花を眺めて過ごしました。病棟内では、「マジックにじいろ」さんをお呼びし、マジックや南京玉すだれ、音楽と一緒に楽しみました。(療育主任 宮沢 直美)



秋のお楽しみ会
第5病棟

6月に続き、秋のお楽しみ会も、ウクレレ演奏とフラダンスによるハワイアンショーを楽しみました。今回は「北極にハワイアンズがあったなら！？」がテーマ。北欧の雰囲気たっぷりの装飾と、ハワイアンのショーのコントラストが見事にミックス！神秘的な雰囲気の中、盛り上がりのある時間を過ごせました！(療育主任 油田 浩幸)



第6病棟
大遠足

春に続き、秋も移動販売ふくまるさんでお買い物を楽しみました。秋冬物のあったかそうなお洋服をそれぞれ選んで購入されました。ご家族や後見人様もたくさんお見えになりました。お店の壁面には前回のマイバッグが飾られ、懐かしみながら話が弾みました。今回も新たに作ったマイバッグを手に、皆さん笑顔に。とても楽しい一日となりました。(療育主任 大谷 智子)



第7病棟
西棟
大遠足

11月12日(水)7病棟東棟の大遠足を行いました。午前中は『さるかに合戦』の物語に沿って俳句(芸術)、モルック(スポーツ)、栗やさつま芋収穫(食欲)で秋を感じていただきました。午後はCAPPのワンちゃんをお呼びして、ふれあい活動を行ないました。爽やかな秋晴れの中、東棟全員が参加することができ、楽しい一日となりました♪(療育主任 柴田 敦子)



井上鑑ココサート & Très Joyeux

10月5日(日)Très joyeuxの金原千恵子(ヴァイオリン)・笠原あやの(チェロ)の皆さんと井上鑑さんをお招きしてコンサートを行いました。井上鑑さんの優しく軽快な語りとジャンルを超えたTrès joyeuxならではのアレンジで、いつの間にか音楽の世界に魅了されるような素敵な時間を過ごすことができました。来年もお待ちしています。(編集委員 清水 信夫)



宝舞風瑠咲登
ココサート

10月26日(日)宝舞風瑠咲登の皆様をお迎えし、利用者様に演舞を観ていただきました。宝舞風瑠咲登の皆様は日本の美しい民俗芸能に出逢い、古くから継承されてきた舞に触発され創作活動を続けています。日本人の心と自然への思いを表現したいと、今回も島田療育センターにて華麗で時にはユーモアのある舞を披露していただきました。(編集委員 清水 信夫)





11月7日(金)パルテノン多摩にて、作業療法士主催の家族向け発達支援講座「おうちでやってみよう！療育あそび おとな体験会」を開催しました。体験会では、姿勢・手先・感覚をテーマに3つのブースに分かれ、100円ショップ等の材料で簡単に作れる手づくり教材や市販のおもちゃを、実際に手に取って体験していただきました。また、お子さんの姿勢保持や手先の不器用さを補うサポートグッズも展示し、お試ししていただきました。ご家族のお悩みにお答えしながら、遊びを通してどのような発達を促すことができるのか、な

どのお話をさせていただきました。ご参加されたご家族からは、「実際に物を見ながら詳しい説明をしてもらえてとてもわかりやすかった」「身近なもので作れるおもちゃや商品を知れてよかったです」といった感想をいただきました。今回、はじめての内容の体験会となりましたが、ご家族おひとりおひとりと直接お話をしながら和やかな雰囲気で開催することができ、職員にとってもとても有意義な機会となりました。（作業療法士 中村 佑季）



第20回を迎える今回は熊谷恵子先生を講師にお招きし『算数障害』をテーマにご講演いただきます。熊谷先生は発達障害に対する支援などを専門にされており、ご著書も多数出版されております。今回は算数を苦手とするお子さんを理解するためのヒントや、具体的な支援方法などについてお話しやすく予定です。保護者の方や学校の先生、支援に携わる方々をはじめ、多くの方のご参加をお待ちしております。（当誌4ページ参照）



また臨床心理科では、今までの心理講演会でご講演いただいた内容を支援へと活かすべく、今年10月に『アンガーマネジメント勉強会』を、11月に『メディアと上手に付き合う』をテーマとした保護者向けの勉強会を開催いたしました。それぞれ、理論や支援方法などについて講義を行っています。また、保護者の方同士でお話することで、悩みや対応のヒントなどを共有する機会ともなっているようです。今後も開催を予定していますのでご興味のある方はぜひ『メルマガ』にご登録いただきご案内をお待ちください！

（公認心理師 若松 育子）



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。



言葉の指示は理解できていて、ジェスチャーも出ているが、言葉が出てきません。



ご質問から分かるように、言葉には様々な側面があります。ご質問のお子さんの場合は、聞いて理解することができて（頭の中に言葉を蓄えている）、ジェスチャーもできている（身近な人に伝えたい気持ちが育っている）とのこと。言葉としてはまだ出でていなくて、ジェスチャーで伝えること、視線を交わすこと、表情の変化で気持ちを表現すること、これらも立派

なやりとりです。今、お子さんが見せてくれているコミュニケーション手段を尊重しながら、楽しいやり取りをたくさん積んであげてください。同時に、声を出すこと、お口の真似っこ、お歌遊びなども取り入れてみましょう。くすぐり遊びなど、自然に声が出るような遊びも良いですね。お子さんが発してくれた音を大人が真似っこすることもお薦めです。はじめのころは、母音（あいうえお）や、唇を使う音（ば行、ま行など）が出しやすいですので、まずはそこから。よくお口元を見せながら、声や音を出す楽しさを共有してみてください。（言語聴覚士 梅津 直比古）



ご質問から分かるように、言葉には様々な側面があります。ご質問のお子さんの場合は、聞いて理解することができて（頭の中に言葉を蓄えている）、ジェスチャーもできている（身近な人に伝えたい気持ちが育っている）とのことです。言葉としてはまだ出でていなくて、ジェスチャーで伝えること、視線を交わすこと、表情の変化で気持ちを表現すること、これらも立派



10月29日（水）に消防操法大会に参加しました。1号消火栓男性隊として支援部の三枝さん、療育部第5病棟の中野さん、理学療法科の吉田が出場しました。今大会の1号消火栓は7チーム出場となりました。メンバーが集まった際にはどのようなことを行つかわからず、全てにおいて心配・不安な気持ちでした。ですが隊の練習を行っていくにつれて、徐々に自信に変えることができました。また実際のホース等を使用し、消防署員の方々から指導いただけたことで、取り組む姿勢がより変わっていきました。当日は天気に恵まれとても良い環境となっていました。私達の隊は6番目で多少の余裕がありましたが、順番が近づくにつれて徐々に緊張感が高まっていきました。セリフの間違いはな

く、動き等も流れに沿った内容でしたが、今思い返せばもっとうまくできたなと思うところもありました。今回は入賞という結果となり、隊の方とも喜びを分かち合い達成感を感じることができました。今大会で得た経験は今後のセンター内の活動や自信に繋がるものになったと感じました。（理学療法士 吉田 秀哉）



おしらせ コーナー

地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL **042-374-2101** (直通)

費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

第20回心理講演会

算数の『わからない』を理解し支援するヒント

日時	2026年1月17日 (土) 10:00~12:00	参加費	1,100円
会場	Zoomライブ配信/ オンデマンド配信	お申し込みは こちらから▶	

家族向け発達支援講座8

「かく力」を育てる関わり～手の発達の視点から～

日時	2026年1月21日 (水) 10:00~11:30	参加費	無料
会場	パルテノン多摩	お申し込みは こちらから▶	

島田療育センター第23回公開シンポジウム

睡眠の起源と臨床

日時	2026年2月7日 (土) 13:00~16:15	参加費	無料
会場	Zoomライブ配信	お申し込みは こちらから▶	

季 節 の 彩 り

「秋の深まり」を栗と動物たちの周りに落ち葉を敷きつめて表現しました。

このコーナーは外来の利用者様にもお散歩コースとして定着し、季節の変化を楽しんでいただけているようです。



発行者

社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL

042 (374) 2071 (代表)

URL

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから▶

